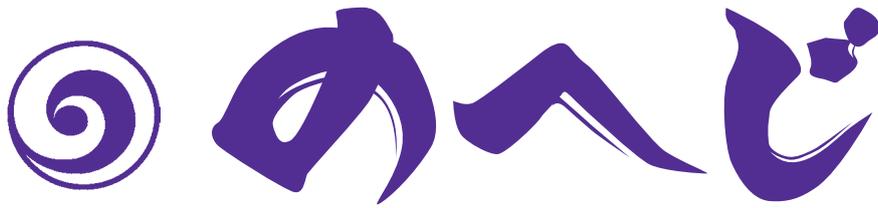


令和5年11月1日発行

第185号



議会だより



《愛宕公園 秋晴れの日常（委員撮影）》

町の魅力いっぱいの写真（jpgデータ）をお待ちしています。
メール gikai@town.noheji.lg.jp



野辺地町
ホームページ
(野辺地町議会)

PART 1	令和4年度決算 75億円のつかいみち	2～3
PART 2	一般質問で政策提案 町民の声を背に	4～8



9月定例会

令和4年度事業を回想

国からの交付金を

地域経済や住民生活の支援に

令和5年第6回9

月定例会が9月6日
から13日までの7日
間（本会議5日）の
日程で開かれました。

本定例会では、一
般会計・特別会計の
決算を審査しました。
審査は会計ごとに行
われ、適正に支出さ
れているか、不用額
は妥当であるか、事
業は計画どおり実施
されて成果を上げて
いるかなど、質疑が
行われました。

令和4年度一般会

計の収入総額は76億
6363万円で、支
出総額は74億871
1万円となり、翌年
度へ繰り越すべき財
源を差し引いた1億
7646万円の剰余
金が生じました。

経常収支比率は
97・8%で、前年度
から6・5%増加し
ました。町税や普通
交付税などの収入が
減少した一方で、公
債費や人件費、補助
金等の支出が増加し
ました。

監査委員から

行政改革の推進と 財政規律の確立を

一般会計での実質
収支は、1億764
6万円の黒字となり、
前年度から2億16
26万円の減となつ
た。財政は依然とし
て厳しい状況にあり、
今後、役場庁舎建設
費、公債費等支出が
予定されており、財
源不足が続くと予想
される。

行政改革の推進と
財政規律の確立に努
めてもらいたい。

新庁舎備品購入に修正案

事前説明と協議が必要、内容が不明確

補正 予算

町の一大プロジェクト
なのに、議論がなされ
ていない！
協議後、改めて提案し
ては！

（赤垣義憲議員）

一般会計補正予算の
質疑最終後、赤垣義憲
議員から債務負担行為
として設定する新庁舎
備品購入に関する部分
を削除する修正案が提
出されました。修正
案の採決は、可否同数に
より議長裁決で否決と
なりました。次に、原
案について採決したと
ころ、賛成多数で可決
となりました。

修正案に対する賛否

反対 5



横浜 木戸 村中 五十嵐 戸澤

賛成 5



古林 中谷 野坂 大湊 赤垣

あわせて
見たい
読みたい



令和4年度決算の詳細は
「広報のへじ10月号」
をご覧ください

75億円のつかいみち

令和4年度事業を追跡
町の取組への町民の感想は？



広報委員が町民にお聞きしました!!



五十嵐さん

給付金助かります。
皆が助けてくれる優
しい町に感謝してい
ます。

介護・福祉・医療事業所燃料費等高騰対策給付金	2073万円
65歳以上で構成される住民税非課税世帯への燃料助成券の配布	1364万円
住民税非課税世帯等に10万円給付(コロナ対策)	3178万円
住民税非課税世帯等に5万円給付(物価高騰対策)	9547万円

支え合い切れ目のない
保健福祉



木村さん

商品券印刷経費が無駄なのでは？支援策の効果を公表してほしい。

農林畜水産業燃料費等高騰対策給付金	1009万円
プレミアム率50%のプレミアム商品券	3886万円
町民に1万円/人の地域振興券を給付	1億3052万円

工夫と連携の地域産業



須藤さん

ICT教育の肝は教える側のスキル。そこへの予算と気配りを。

野辺地高及び野辺地西高の生徒対象に短期講座	112万円
ICT教育支援	1037万円
東北大会規模以上に出場する町内小・中・高校に在籍する個人・団体へ競技力強化費を助成	159万円

誰もが学べる教育



村山さん

去年は、降雪状況を確認して除雪しているので苦情が減ったと思います。

除雪対策	1億618万円
地域防災計画の修正	283万円
津波ハザードマップ	440万円

住み続けたくなる
生活環境



木村さん

水を切る！使い切る！食べ切る！をいつも心がけています。

家庭ごみ収集	4631万円
資源ごみ回収	1355万円

活用して保全する環境



横濱さん

未来を担う子どもたちへの支援は、大変ありがたいです。子育て世代も助かります。

マイクロバス購入	1120万円
大学生等へ10万円/人の支援	2110万円
庁舎等新築工事(令和4年度分)	1億719万円

メリハリのある行財政

審議議案と賛否 [令和5年第6回9月定例会]

令和4年度決算	
一般会計	認定
国民健康保険事業特別会計	認定
後期高齢者医療特別会計	認定
介護保険事業特別会計	認定
介護サービス事業特別会計	認定
下水道事業特別会計	認定
水道事業特別会計	認定
令和5年度補正予算、条例改正、その他	
一般会計（第4号） 1億6760万円増 予算総額90億3800万円 主に財政調整基金積立金に追加するもの。 （賛成） 横浜議員、木戸議員、村中議員、五十嵐議員、戸澤議員、大湊議員 （反対） 古林議員、中谷議員、野坂議員、赤垣議員	賛成多数可決
一般会計（第4号）に対する修正案 債務負担行為補正の新庁舎備品購入を削除するもの。 （賛成） 古林議員、中谷議員、野坂議員、大湊議員、赤垣議員 （反対） 横浜議員、木戸議員、村中議員、五十嵐議員、戸澤議員	議長裁決 による否決
国民健康保険事業特別会計（第2号） 8412万円余り増 予算総額16億9436万円余り 前年度繰越金の増額によるもの。	全員賛成可決
後期高齢者医療特別会計（第2号） 442万円余り増 予算総額1億9835万円余り 前年度繰越金の増額によるもの。	全員賛成可決
介護保険事業特別会計（第2号） 8427万円余り増 予算総額18億6552万円余り 前年度繰越金の増額によるもの。	全員賛成可決
情報公開条例の一部改正 不開示情報に係る規定について所要の改正を行うもの。	全員賛成可決
新たに生じた土地の確認と字名 公有水面の埋め立てによって、新たな土地の確認と区域に編入するもの。（字野辺地568番地先）	全員賛成可決
教育委員会教育長の任命 新渡幹夫氏の任期が9月30日で満了となるため、再任するもの。	同意
監査委員の選任 蛭名進一氏の任期が11月30日で満了となるため、新たに駒井広氏を選任するもの。	同意
議員提案	
原子力エネルギー対策特別委員会の設置 原子力エネルギー施設の防災対策等に関する調査及び審査を行うもの。	全員賛成可決
議会改革検討特別委員会の設置 町民に開かれた議会の構築並びに議会の充実及び活性化に関する調査を行うもの。	全員賛成可決

聴く！ 見る！ 考える！ つなげる！ ぎかい “町民” の声をひろいあげます！

一般質問で政策提案 町民の声を背に

CHECK

町のさまざまな課題等について、町に方針等を聞くのが「一般質問」。9月定例会では、6名の議員が登壇し、町政への質問や提言を行いました。ここでは、ダイジェスト版でお知らせしています。詳細は会議録をご覧ください。（12月上旬調製完了予定）



支え合い切れ目のない保健福祉		誰もが学べる教育	
記録的猛暑における熱中症対策	大湊	学校図書室の充実	村中
買い物支援	村中	統合小学校建設計画と義務教育	赤垣
マイナンバーカードと健康保険証の一体化	高沢	学校給食無償化の早期実現	高沢
工夫と連携の地域産業		住み続けたい生活環境	
みちのく丸の利活用計画	大湊	バス交通路線の維持対策	大湊
祇園まつり山車展示施設の必要性	中谷	メリハリのある行財政	
久喜市との友好都市10周年記念事業の総括	中谷	過去と現在の財政状況	赤垣
行在所の誘客促進	高沢	公共施設等の維持管理	赤垣
青森人の祭典への参加	木戸		
むらおこし物産加工施設の有効利用	木戸		



猛暑における熱中症対策は

熱中症予防対策の啓発を継続（町長）

問

全国的猛暑が深刻化する中、政府は主体的な熱中症対策を推進することを求めているが、当町の体制整備状況と対策は。

国・県との連携や自然的社会的条件に応じて、主体的に熱中症対策を推進するよう努め、予防行動の促進を図る。

町長

熱中症対策実行計画に基づく当町の体制整備状況は、法施行予定の令和6年度に、庁内体制を整備する予定として

広報への熱中症予防記事の掲載や、公共施設へポスター掲示を行うっており、町内の福祉施設等には、

国や県からの情報を提供している。また、小中学校等へのエアコン設置のほか、職員が屋外で活動する際は、こまめな水分補給や休息など、十分配慮している。

町長

今後もホームページ等を活用した熱中症予防対策の啓発を継続していく。



みちのく丸の利活用を

展示を継続ながら検討する（町長）

問

みちのく丸の展示のみならず、一部を使用した模型や記念品を製作し、町の活性化につなげては。

町長

巨大な建造物であるため、安全性の観点から、現在は船首部分に補強の

支えを設置し、周辺を立入禁止としている。

安全性の確保を最優先とし、可能な範囲で展示していきたい。

小さな模型、記念品を製作して活用することは、今後の参

考としていきたい。

この事業は、起債を財源としているため、条件と異なる利用をした場合、償還に支障を生じる可能性があることなどから、展示を続けることを優先する。

バス利用者拡大に向けた協議を

地域公共交通の維持に努める（町長）



おおみなと としゆき 議員 大湊 敏行

今年の夏は、とにかく暑かったですね。観測史上最高気温35.6℃を記録しました。来年の夏は町民の皆さまが、新庁舎に集まって涼んでいる情景を思い描いています。

問

バス路線に対する補助金の抑制につながる、利用者拡大に向けた事業者との協議は。

町長

象経費の抑制を図っている。近年においては、利用者の拡大につながるような協議は行われていない。地域公共交通の維持は重要なことなので、事業者と協力し、地域公共交通の維持に努めたい。



学校図書室の充実を

充実に向けて実施している（教育長）

問 読書活動の重要性が問われているが、学校図書室では規定の蔵書冊数が満たされていないのか。新本に入替を行っているのか。新聞は配備されているのか。

更新に努めることが望ましいとされ、調査しながら新本への入替を行っている。

中学校では、国語や社会の授業で新聞を教材として活用するNIE教育を実践し、社会への興味や関心の幅を広げることのほか、記事を読み比べることで、考えや意図を読み取る学習のために活用している。複数の新聞を配備することは今後検討する。

教育長 文部科学

省が定めた学校図書館基準に基づき、各校の図書充足率は、野辺地小学校が約7千冊で100%、若葉小学校が約5600冊で80%、野辺地中学校が約2万5千冊で250%となっている。

新本への入替につ

いては、ガイドラインによって、時間経過に伴い誤った情報を記載されている図書、汚損や破損で修理が不可能となった図書を適切に廃棄、



3 すべての人に
健康と福祉を



高齢者等に買い物支援を

体制を関係者の皆様と一緒に（町長）

問 近場で買い物ができない高齢者等に対し、支援が必要と考えるが実態はどうか。また、支援する仕組みづくりの検討は。

町長 平成28年度

に実施した町の意向調査では、30%の人が買い物に不便を抱えていた。その後、平成30年度の調査では、「店への交通費の助成」「買った商品の配達」「買い物代行又は買い物同行」のニーズが明らかとなった。

現在、町の支援策としては、タクシー料金を助成する「お出かけ支援タクシー事業」、独居高齢者等に弁当を配達して安否確認を行う「配食・見守りサービス事業」、ヘルパーが買い物支援や同行を行う「居宅サービス」がある。社会福祉協

学校図書室が、子どもたちが自由に好きな本を選んだり、1人で過ごしたり、学年が違う児童生徒が関わりを持つことができる場となればと思います。



むらなか あきこ
村中 玲子 議員

安心して生活できる体制を関係者の皆様と一緒に創り上げていきたい。

議会ではシルバー人材センターが支援を行っているほか、町内外の小売業者の配達や宅配サービスも各種行われている。町としては、今後



祇園まつり山車展示施設を

今は設置する考えはない（町長）

問 祇園まつり最優秀賞の山車は、観光PRセンターへ組み直して展示される。実際に運行された山車をそのまま展示できる施設を。

町長 展示スペースは実際の山車より狭いため、解体、組み直しが必要となる。

一方で、観光PRセンターに展示できることは、祭典部にとって大きな誇りであり、今後の山車製作の励みにもなる。

現在は、常設の展示場を設置する考えはないが、既存の施設において、工夫を凝らした展示を続けることで、北前船日本遺産認定に係る貴重な文化財としてのへじ祇園まつりを

大切にPRしていきたい。



2023のへじ祇園まつり最優秀賞 新道組祭典部「日蓮と蒙古大襲来」

久喜市との記念行事の対応は

おもてなしの心で誠心誠意対応（町長）

問 久喜市・野辺地町友好都市10周年記念の植樹式と祝賀会を副町長と教育長が欠席したが、対応は十分といえるか。今後どのように関係を深めるつもりか。

町長 議会、産業界などから代表する方々に参加していただき、町を挙げて誠心誠意対応できたと思っている。今後は、産業界や経済界、町民の皆さまが中心となった交流を更に深めていくよう、工夫を凝らしながら双方の活性化と発展につなげていきたい。

町民が丹精込めて製作した最優秀賞受賞作品の本物（現在は作り直して展示）を展示するための常設展示場が必要だと思い、町長の考えを伺いました。



なかや けんいち 中谷 謙一 議員



安定した財政を

健全な財政運営に努める (町長)

問 過去に実質収支がマイナスとなった年度はあるか。

平成14年度と令和3年度における町民1人当たりの地方債残高と公債費は、平成14年度以降、実質収支が黒字に転向するまでの年数は、

町長

記録が残る昭和47年〜平成13年度でマイナスとなった年度はない。

町民1人当たりの地方債残高と公債費は、平成14年度が約20万2千円と約3万6千円、令和3年度は約45万2千円と約

5万6千円である。

平成14年度に実質収支がマイナスとなつてから、4年後の平成18年度に黒字に転じた。



地域の実情や児童生徒で判断 (町長)

小中一貫教育を

問 小中学校の現校舎完成当時と現在の児童数と学級数は。中学校の空き教室数は。

は。文部科学省が小中一貫教育を推奨しているが、町の考えは。

町長 野辺地小学校は当時1026人の26学級、現在は2

08人の10学級。若葉小学校は当時677人の18学級。現在は224人の10学級。野辺地中学校は平成25年当時356人の15学級、現在は248人の12学級である。

野辺地中学校は、空き教室はない。

文部科学省では、

手引きを作成し、全国各地の多様な工夫例や留意事項をまとめているが、小中一貫教育の導入については、各地域の実情や児童生徒の状況に垂らして判断されるものと示されている。



施設の長寿命化に必要な対策は

長寿命化方針に基づく (町長)

問 公共施設の長寿命化には、どのような対策が必要とされているのか。

町長 耐用年数が迫ってから対策するのではなく、中長期的な視点により定期

これから先を判断するために、過去の教科書を有効に使う必要があると考え、質問に至りました。財政に対する危機感からの注意喚起の想いも込めて。

的な点検、修繕による予防保全、計画的な機能改善に努めることが必要である。



あかがき よしのり
赤垣 義憲 議員





給食費無償化の早期実現を

県等の内容が示されたら検討（町長）

問 町単独で学校給食費無償化を先行して実施する考えは。保護者が負担する年間の給食費は。

活困窮家庭の児童生徒の全額免除や、1食10円の補助等を継続し、県等の具体的な対策の内容が判明した段階で前向きに検討したいと考えている。

町長 現在、県の政策として、給食費無償化について情報が届いていないので、町が実施している生

平均日数と単価で算出すると、小学生で5万6千円、中学生で5万7千円となる。



行在所への誘客を

新たなイベント等も検討（町長）

問 行在所は町のブランド価値を高める貴重な文化財と思うが、誘客に向けて観光コースを検討しては。

いる。行在所についても、町、教育委員会、観光協会等の関係団体が連携を図り、各種イベント等とタイアップし、当町の誘客促進について検討する。

した新たなイベント等も検討し、広域的に情報発信に努め、当町への誘客を促進していきたい。

町長 まちづくり総合計画や教育振興基本計画において、歴史・文化・芸術の継承と活用を掲げて

行在所を含めた町内の文化財と新庁舎の歴史こみちを活用



マイナンバーカードの理解促進を

国の動向を随時情報発信する（町長）

問 マイナンバーカードについては、全国的にトラブルが発生しているが、町では町民の理解促進に向けた取組を考えているのか。

町長 国では、国民の不安払拭を図るため、現行の保険証

安らぎの思いとして、行在所活用、全国的にトラブルの多いマイナ保険証直しについて質問しました。

廃止後も、保険証の代わりとなる資格確認書を対象者全員に交付することとしている。

町では、暗証番号を忘れた方には、番号を再設定していただいている。

国の政策・動向を随時お知らせすることしかできないが、町への問い合わせに対して丁寧な説明を行い、情報発信についても引き続き行っていきます。



たかさわ ようこ 高沢 陽子 議員

状況を確認しながら検討する（町長）

問 青森人の祭典は、青森県の魅力を首都圏に発信する祭典であり、会場で町をPRすることも可能だと思いが、参加を検討しては。

町長 青森人の祭典は、東京青森県人会が、会員の交流を目的として納涼懇親会として開催したのが始まりで、後に名称を改めて現在に至っている。

平成21年には、この懇親会に物産展を加え、規模を拡大し、上野をはじめ有楽町など都内数か所で開催された。

平成30年度からは、上野恩賜公園噴水広場でコロナ禍2年を除き、約10万人の来場者を迎えて開催されている。

当町は、平成25年を最後に参加しておらず、現在の開催内容等を把握できていないので、今年及び今後の開催状況などの情報を収集した上で、関係する団体からの意見も聞き、費用対効果も含めて検討していきたい。



9 産業と技術革新の基盤をつくろう
物産加工施設の有効利用を

時間をかけて検討する（町長）

問 現在は、カワラケツメイの商品の販売推進や商品開発に使用されているが、併せて特産品の商品開発に有効活用しては。

2022年度のふるさと納税の寄附額は、県内40市町村中下から3番目です。その納税額を増やすために加工施設を有効利用して、返礼品の商品開発に努めると寄附件数の増加につながると思います。



きどただかつ 木戸 忠勝 議員

町長 お茶のドリリンクや茶粥の缶詰を製造する特殊な仕様の設備や備品が整備されている。特殊な設備への対応、利用状況、地域活性化につながる利活用や今後の地域状況にも目を向けなければならぬ。施設維持費を考えた場合、公共施設として管理していくべきかなども含め、検討が必要である。

8月臨時会

令和5年第5回8月臨時会が8月7日に開かれました。

審議内容は、令和4年度一般財団法人野辺地町観光協会の決算報告の後、一般会計補正予算と野辺地漁港荷さばき施設改築工事の契約議案が原案のとおり可決となりました。

野辺地漁港荷さばき施設改築工事

工事場所

字米内沢 地内

請負代金

4億1360万円

契約の相手方

株式会社工藤組



一般会計補正予算

歳入歳出130万円を追加し、予算総額を88億7040万円としました。主に、町商工会が開催する花火大会事業に補助金100万円を追加するものです。

委員会レポート

建設産業
保健衛生
常任委員会
8月3日

総務
常任委員会
8月2日

町内全世帯へ物価高騰に対する支援を

物価高騰に対する支援策として、町内全世帯を対象に給付金の交付を行うものです。手続は11月30日まで。

○電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金

国事業として全国市町村で実施され、令和5年度において世帯全員が住民税非課税の世帯が対象で、給付金額は、世帯当たり3万円です。令和3、4年度に今回と同様の給付金を交付した口座へ9月11日から順次振り込まれます。

○生活支援臨時特別給付金

町独自に右記給付金の対象外となる世帯に、2万円を給付するものです。支給要件確認書を受理後、9月11日から順次振り込まれます。

9月7日 全員協議会



◆旧木明小学校(現：コミュニティ防災センター)の民間譲渡等

4月に民間事業者から町に「コミュニティ防災センター及び敷地を買い取って、原子力関連施設工事の従業者などのため、に宿泊施設を整備し、県内・圏域の地域振興に寄与したい。」との申し入れがありました。

◆介護保険料の賦課誤り

賦課決定において、所得税や住民税の修正申告などの際に、2年間の遡及期間を超えて保険料を変更した事例を発見し、一部の被保険者に対して、過大又は過小に賦課したことが判明しました。

法改正の内容が組織内で十分に理解と共有がされていなかったのが原因です。

旧校庭の一部の敷地は売却し、旧校舎等については無償譲渡を考えています。

9月定例会において、新たに設置した特別委員会を紹介します。

原子力エネルギー

対策特別委員会

- 委員長 五十嵐勝弘
副委員長 野坂 充
委員 横浜 睦成
高沢 陽子
木戸 忠勝
村中 玲子
戸澤 栄
古林 輝信
中谷 謙一
大湊 敏行
赤垣 義憲

議会改革検討

特別委員会

- 委員長 赤垣 義憲
副委員長 村中 玲子
委員 高沢 陽子
木戸 忠勝
中谷 謙一
大湊 敏行



議員は何してる？ 議員の活動

7月

- 5日 広報委員会
19日 県町村議会議長会
県下町村議会議員研修会
20日 広報委員会
21日 郡町村議会議長会定例会

8月

- 2日 総務常任委員会
議会運営委員会
3日 建設産業保健衛生
常任委員会
7日 臨時会
議会運営委員会
19日 久喜市・野辺地町友好都市
提携10周年記念植樹式
祝賀会
30日 議会運営委員会
31日 県町村議会議長会
町村議会広報研修会

9月

- 7日 定例会（提案理由）
全員協議会
8日 定例会（一般質問）
11日 定例会（決算議案審議）
12日 定例会（決算議案審議）
13日 定例会（議案等審議）



会議録の公開

定例会・臨時会の会議録を町ホームページで公開しております。会議録は調製が完了次第（閉会后3か月程度）随時更新します。議会事務局でも閲覧できます。



12月定例会の予定

- 12月6日（水） 提案理由
12月7日（木） 一般質問
12月8日（金） 議案等審議

いずれも9時30分開会予定です。
日程は変更になる場合があります。

編集後記

暑い暑い夏も終わり朝夕の寒さを感じる今日この頃、町民の皆さまの御健康をお祈りします。

さて、広報委員会では皆さまから「読んでもらえる議会だより」を目指し、8月には青森市での広報研修会に参加し、発行前には委員会を開催して、創意工夫を重ねながら活動しています。

今回は9月定例会の審議が中心となっています。議員の質問や町長の答弁にどんな感想をお持ちでしょうか？

議会だよりへの皆さまのご意見・ご要望をお待ちしております。
(横浜)

広報委員会

- 委員長 大湊 敏行
副委員長 赤垣 義憲
委員 横浜 睦成
木戸 忠勝
村中 玲子

五十嵐勝弘